

11/29(土) 全国集会



アユ・シジミ・サケ漁業を守ろう!

霞ヶ浦導水事業はいらない!

2014年11月29日(土) 14:00~17:00

茨城大学 人文学部 講義棟1階10番教室

茨城県水戸市文京2-1-1 TEL 029-228-8104(代)

JR水戸駅北口バスターミナル7番乗り場から茨城交通バスに乗りして「茨大前」で下車(約25分)



集会プログラム(予定) (敬称略)

開会挨拶 君島恭一(那珂川漁協組合長)

基調報告 導水事業と那珂川の漁業

二平 章(茨城大学地域総合研究所)

報告 那珂川の漁業への影響

① シジミ

浜田篤信(霞ヶ浦生態研究所)

② アユとサケ

石嶋久男(魚類研究家)

報告 導水事業は何故いけないのか

① 導水事業の問題点

嶋津暉之(水源開発問題全国連絡会)

② 茨城県は水余り

神原禮二(茨城県の水問題を考える市民連絡会)

③ 霞ヶ浦浄化の虚構

高村義親(茨城大学名誉教授)

④ 裁判報告

谷萩陽一(アユ・シジミ裁判弁護団長)

全国からのエール

決議文採択

閉会の挨拶 全国集会実行委員長

荒井一美(霞ヶ浦アカデミー)

栃木・茨城県を流れる那珂川はアユの漁獲高日本一を誇り、最下流で合流する濁沼川はシジミの三大産地の一つです。この豊かな水産資源を育む那珂川のみならず、霞ヶ浦、利根川にも大きなダメージを与える霞ヶ浦導水事業が進められています。那珂川の漁業を守らなければならないと、那珂川水系の8漁協が導水事業差止めの裁判を起こし、今年12月に結審を迎えます。

国交省はお手盛りの検証で今年8月に事業継続のゴーサインを出しましたが、導水事業の三つの目的はいずれも破綻しており、巨額の公費を浪費するだけの事業になっています。

(土)の午後、水戸で開きます。皆様のご参加をお待ちしております。

この有害無益な導水事業を何としてもストップさせるため、全国集会を、11月29日

※11/30(日)は水源連の総会があります。詳細は裏面参照。

主催 全国集会「霞ヶ浦導水事業はいらない!」実行委員会

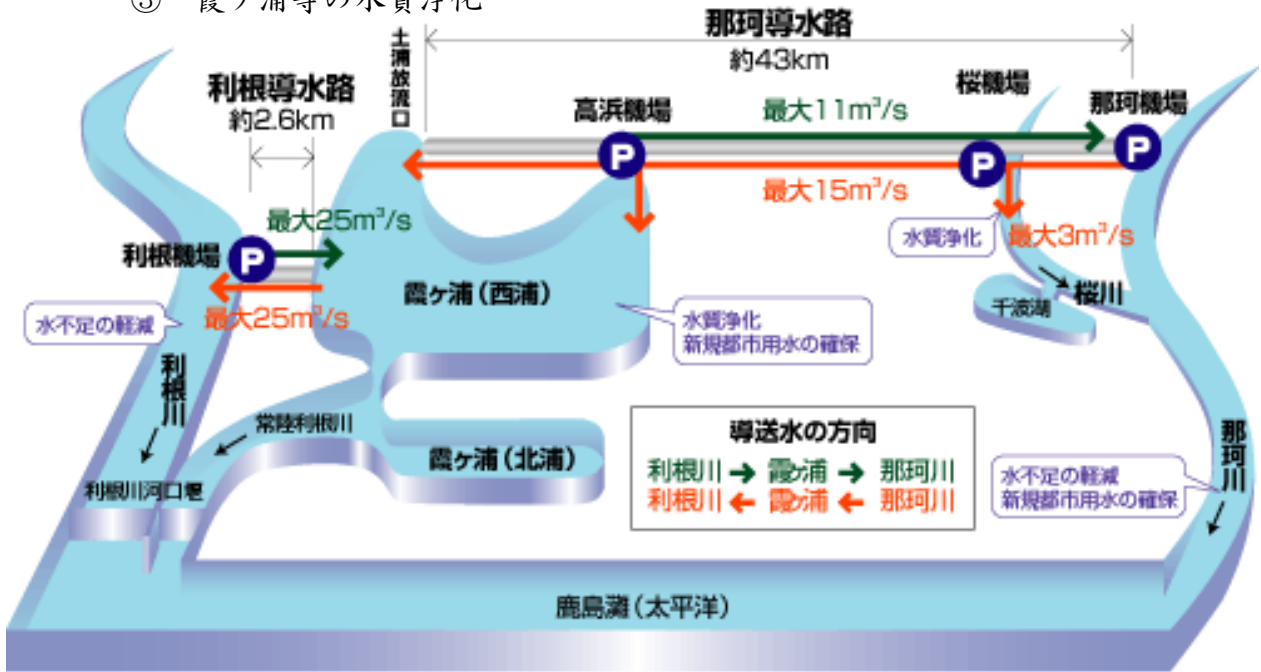
連絡先 浜田篤信(霞ヶ浦生態研究所) TEL 029-946-0988、090-3591-1253 ✉ kaseco@y5.dion.ne.jp

遠藤保男(水源連) TEL 045-877-4970、090-8682-8610 ✉ yakkun@mvd.biglobe.ne.jp

霞ヶ浦導水事業

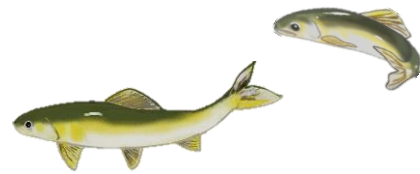
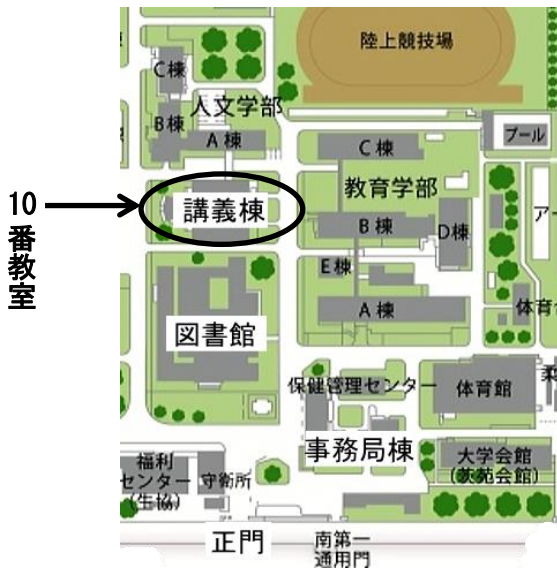
～霞ヶ浦経由で利根川と那珂川との間で水を行き来させるため、導水路を建設する事業～
目的

- ① 新規都市用水の開発（茨城、千葉、東京、埼玉）
- ② 利根川と那珂川の渇水時の補給
- ③ 霞ヶ浦等の水質浄化



(出典：国交省の資料)

茨城大学水戸キャンパス構内図



11/30(日) 水源連

(水源開発問題全国連絡会) 総会

9:00～11:00

霞ヶ浦導水の那珂機場見学、

流し網によるサケ漁見学、

カヌー下りによるアピール

11:00～15:00 水源連絡会

会場：那珂川漁協2階会議室

東茨城郡城里町石塚 1684-1

TEL 029-288-3034

全国集会「霞ヶ浦導水事業はいらない！」実行委員会 (順不同)

荒井一美 (霞ヶ浦アカデミー) 柏村忠志 (霞ヶ浦導水を考える県民会議) 神原禮二 (茨城県の水問題を考える市民連絡会)

吉井幸司 (茨城共同運動) 西原昇治 (自然観察指導員) 飯島博 (アサザ基金) 高村義親 (茨城大学名誉教授)

石嶋久男 (魚類研究者) 二平 章 (茨城大学地域総合研究所) 浜田篤信 (霞ヶ浦生態研究所)

武藤千鶴子 (利根川の水と自然を守る取手連絡会) 山本栄子 (茨城栃木那珂川関係漁協議会)

嶋津暉之 (水源開発問題全国連絡会) 遠藤保男 (水源開発問題全国連絡会)

